

なにやってんだよ!

ネットワーク管理者・池田の

第13回 URLを入力するときは大文字と小文字にも注意しよう

インプレスでも、一定期間ごとに、WWWサーバーにどれくらいのアクセスがあったのかというデータを集計している。そうした作業の中で気が付いた点、いくなればサーバー管理者からのお願いを1つさせていただこう。

👁️ リンクの記述でサーバーのログが変わる

WWW広告も増えてきたおり、最近ではアチコチで見かける。これを広告という観点から見ると、その媒体の威力を何らかの数値で表せた方が都合がよい。アクセス数、ヒット数、インプレッションなど、いろいろな単位で出てきたが、こうした数値は、WWWサーバーで記録しているログを集計して算出している。

ログに記録しているのはお決まりの、アクセスしてもらったページとユーザーのIPアドレス以外に、最近のWWWサーバーソフトウェアでは、ユーザーが使っているブラウザの種類やバージョン(User-Agent)と、「うちのページはどこからリンクされているか」(Referer)といった情報も記録できる。

こうした付加的な情報は、ユーザーがアンケートに答える能動的なアクションではなく、実はブラウザがファイル転送を要求する際についてサーバーに送って来てくれるものだ。

ブラウザの種類(の文字列)はそのブラウザに埋め込まれているのでユーザーレベルの設定などによって変更することはできない。が、どこからリンクされているか?については、リンクしているページにおいてどのようなリンク()を記述しているかでサーバーで記録されるログが変わる。

👁️ URLの表記は統一している

で使うURLにはもちろんサーバー名が含まれている。インターネットのサーバー名(ホスト名)は大文字と小文字は区別されないため、すべて小文字でもすべて大文字でも機能的には問題ない。もちろん大文字と小文字が混ざっていてもまったく問題ない。例を挙げると、http://www.impress.co.jp/はhttp://WWW.IMPRESS.CO.JP/と、すべて大文字でもアクセスでき、大文字と小文字を混ぜ

て、http://www.Impress.CO.JP/としてもアクセスできる。

つまり、あるWWWサーバーを指し示す表記は大文字と小文字の組み合わせの数だけあることになる。が、あるひとつのものを指す異なった表記があるとまぎらわしいので、ぜひとも統一したい。たとえば、インプレスでは「http://www.impress.co.jp/とすべて小文字で表記する」と決めている。

👁️ 決められたURLを入力しよう

もしリンクしてもらえらば、サーバー名は小文字で記述し、ポート番号などつけないでほしいのがwww.impress.co.jpだ。他のサイトの場合、雑誌や検索のページに掲載されているURLが正式な表記の場合であることが多いので、なるべくそのとおりに入力するようにしよう。

このことは、リンク集ページからのリンクだけでなく、個人的なブックマークや手でURLを入力する時にも、大文字小文字を混ぜたりするとサーバー側におかしな「Referer」として記録に残る。

名前は、呼ばれる側の都合に合わせてあげよう。



最後のスラッシュは評価できる(本誌1996年2月号参照)が、大文字にはしないように



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp